

平成 29 年第 3 回大仙市議会定例会

市政報告

平成 29 年 8 月 28 日

大仙市長 老 松 博 行

平成 29 年第 3 回大仙市議会定例会にあたり、諸般の状況について申し上げます。

はじめに、7月 22 日から 23 日にかけて本県を襲った大雨による災害についてであります。

この度の豪雨により被災されました皆様に対し、心からお見舞いを申し上げます。

活発な前線の影響により、本市では、7月 22 日正午からの 24 時間雨量が協和峰吉川地区において観測史上最多の 364 ミリになるなど、これまで経験したことのない記録的な大雨がありました。

市では、災害対策本部を早期に立ち上げ、市民の皆様の命を守ることを最優先に、避難指示及び避難勧告の発令、避難所の開設、内水対策、交通規制など、早め早めの対応に努めたところであります。

避難指示については、最大時 8,217 世帯 21,661 人に、避難勧告については、最大時 7,118 世帯 19,429 人に発令しており、避難所については、市内 54 か所に設置し、最大時 1,926 人が避難されております。なお、一時最大で 457 世帯 1,302 人の方々が孤立状態となりましたが、7月 25 日に解消されております。また、協和、西仙北及び南外地域では、最大時 817 戸が断水しましたが、給水車による給水活動や災害備蓄品の飲料水給水バッグの配布など可能な限り水を提供しております。

この豪雨では、幸いにも、尊い人命を失うことなく乗り切ることができました。このことは、市民の皆様が常日頃から高い防災意識を持ち、行政情報や過去の災害の教訓を活かして、自ら行動を起こしていただいたこと、また、消防団や自主防災組織の皆様が地域を守る活動を展開するとともに、住民の皆様同士が助け合っていただいたからであると思っております。

一方、市内各地で家屋の浸水や土砂崩れ、道路・橋梁の損壊などが数多く発生し、農地についても広範な冠水や土砂の流入など甚大な被害が出ております。

雄物川では、神宮寺地区において氾濫危険水位を 1.86 メートル超過する 7.56 メートルが観測され、市内の暫定堤防部や無堤部から溢水したほか、県管理河川等の氾濫により、全半壊及び床上・床下浸水合わせて 1,521 棟の住宅等の被害が発生しております。

また、道路の決壊及び路肩崩落等が 322 か所、河川の護岸決壊・損傷等が 140 か所に及び、公共土木関係被害総額は 14 億 7 千万円に上ったほか、農地の冠水等面積 2,366 ヘクタール、農地・農業用施設被害 1,477 か所、林道被害 105 か所に及び、農林業関係被害総額は 26 億円に上っております。

市では、こうした状況の中、初動対応に続く次の段階として、生活道路などの復旧をはじめ、災害ごみの収集、し尿等の汲み取り、家屋の

消毒など、市民の皆様の生活再建に向けた取組を全力で行ったところであります。このうち災害ごみの処理については、7月25日から収集を開始しており、8月23日までの処理量は、大仙美郷クリーンセンターが1,028トン、民間の処理場が99トン、家電リサイクル対象物が300台となっております。

浸水被害住宅等の復旧支援にあたる「大仙市災害ボランティアセンター」については、岩手県と秋田県の社会福祉協議会や両県内の多くの市町村社会福祉協議会の応援を受けながら、7月25日に市社会福祉協議会に本部を、同協議会西仙北支所にサテライト拠点を設け、7月28日から実質的な活動を開始しております。センター開設後は、市内をはじめ県内外から1,200人のボランティア登録があり、8月16日の活動終了まで、泥だしや清掃活動等122件の作業ニーズに対して322回、延べ1,798人のボランティアの皆様に参加いただいております。

今般の豪雨による甚大な被害に鑑み、県では7月28日、本市に災害救助法の適用と、本市区域への被災者生活再建支援法の適用を決定しております。また、8月7日には、県及び本市を含む被災自治体が関係省庁等を訪れ、公共土木災害・農林業災害の復旧支援、財政支援、雄物川の築堤事業の促進などを要望したところであり、国では翌8日、農林水産関係の復旧事業について全国を対象として激甚災害の指定を決定しております。農地及び農林業施設被害については、早期に復旧し、農家の

皆様が営農活動に取り組むことができるよう対策を進めてまいります。

市では、応急対策後の災害復旧を加速させ、市民の皆様の日常生活を速やかに取り戻すため、8月10日、これまでの災害対策本部を災害復旧本部に切り替えたほか、被害の大きい協和、南外及び西仙北地域に対し、各支所に復旧にあたる職員の増員を行っております。8月24日には、第1回災害復旧本部会議を開催しており、生活再建支援、農地・農林業施設、道路・橋梁及び公共施設の災害復旧などを強力に進めてまいります。なお、豪雨災害に関する市の救済制度について、広報8月16日号に掲載しておりますので、ご活用いただきたいと存じます。

また、今般の豪雨災害では、市内・県内外の多くの企業・団体・個人の皆様から義援金をいただいております。8月23日現在で90件、総額1,001万円となっており、この善意を有効に活用させていただきたいと存じます。

豪雨災害に係る予算措置については、7月31日の議員報告会でも説明しましたとおり、4段階で対応することとしております。

まずは、避難所開設や災害ボランティアなどに関連する経費を予備費で対応しております。

次に、住宅等に被害を受けられた皆様へ早急に災害見舞金をお渡しするため、7月31日付で補正予算を専決処分させていただいております。8月1日から私をはじめ幹部職員が個別に各家庭を訪問して見舞金を

直接お渡ししており、8月5日には配付をほぼ終了しております。

次に、災害ごみの処理経費、道路や水路の土砂流木撤去等応急復旧経費、被災農家の農地等に係る災害復旧経費に対する補助金、事業所等再開支援経費、住宅リフォーム支援経費などに係る補正予算を、8月10日付けて専決処分させていただいており、議員各位にはご理解賜りますようお願い申し上げます。

4段階目は、道路、河川、農地・農業用施設、林道、その他公共施設の補助災害復旧工事費などに係る補正予算であります。これについては、今次定例会に追加提案を予定しております。

一日も早い市民生活の安定のため、引き続き国、県、関係機関等のご協力をいただきながら、職員一丸となってこの難局に全力で取り組んでまいります。

次に、8月24日から25日朝にかけての大雨についてであります。前線を伴った低気圧の影響により、本市では、太田大台地区において24日午前10時からの24時間雨量211ミリが観測されております。市では、24日午後1時17分に災害警戒対策室を設置、午後6時30分には災害対策本部に格上げし、河川増水や土砂災害の警戒、内水排水などの対応に努めたところであります。この大雨により、避難指示を369世帯833人に、避難勧告を最大時10,146世帯26,672人に発令したほか、

避難所については、市内 16 か所に最大時 162 人が避難されております。

25 日午後 5 時現在で把握している被害状況については、人的被害はないものの、住宅の床下浸水 20 棟、農作物の冠水 146 ヘクタールなどとなっております。引き続き詳細な状況を調査中であり、今後まとまり次第報告させていただきます。

先月の豪雨災害と併せ、被害の迅速な復旧に向け全力で取り組んでまいります。

次に、8 月 26 日に開催された第 91 回全国花火競技大会「大曲の花火」についてであります。

本年は、大会テーマを「行雲流水　日々に新たに、また日に新たなり」とし、国土交通省をはじめ秋田県警、広域消防、消防団など関係機関のご協力のもと盛大に開催されました。

今回の大会は、24 日から 25 日朝にかけての大雨の影響により、観覧会場、打上場及びテント設営可能駐車場である雄物川河川敷が冠水したことから、駐車場については、利用者の安全等を考慮し閉鎖を決定いたしました。観覧会場及び打上場については、その後の天候回復と、排水や清掃、消毒など関係者の夜を徹した懸命な復旧作業により、無事に開催にこぎつけることができたものであります。

大会では、先月の豪雨により被災された方々の一日も早い生活再建

などを願う「激励花火」も打ち上げられるなど、74万人の人出となり、競技においては、最優秀賞である内閣総理大臣賞を、昨年に続き茨城県の野村花火工業株式会社が受賞しております。

今大会で7回目となる「大曲の花火」への東日本大震災の被災者招待事業については、岩手県宮古市、大槌町、宮城県気仙沼市、南三陸町の被災者と、本市を含む県南地域に避難されている方々を合わせて、173人を桟敷席に招待しております。

なお、10月14日には「大曲の花火 秋の章」が開催されますが、同日と翌15日の2日間、JR大曲駅前・花火通り商店街周辺及び大曲市民会館を会場に「新・秋田の行事 in 大仙 2017」が開催されます。これは、平成26年に開催された「第29回国民文化祭・あきた2014」の後継事業として、本市及び県内各地の伝統芸能や祭りが一堂に会するものであります。

次に、花火産業構想の進捗状況についてであります。

(仮称)花火伝統文化継承資料館等整備事業については、6月30日に建築工事の安全祈願祭を行っており、来年5月の完成、8月の施設オープンに向けて順調に工事が進んでおります。

株式会社花火創造企業については、平成27年4月の会社設立以降に雇用され花火製造技術の研鑽を積んだ13人の花火師が、6月9日に市内

の花火業者へ2.5号から4号までの花火玉272発を初出荷しております。7月末までの出荷状況は、2号から5号までの花火玉で計3,308発となっており、花火創造企業の製品を打ち上げる市内の花火業者を通じて、同社が製造した花火玉の品質や安全性を全国の花火業者にPRし、生産と雇用の拡大を図ってまいります。

第16回国際花火シンポジウム実行委員会については、6月30日開催の実行委員会で収支決算等の承認を行い、7月7日をもって解散しております。余剰金554万円については、大曲商工会議所からの負担金446万円と合わせた計1千万円で「大曲の花火 春の章基金」を商工会議所に創設し、次年度、この基金を活用した国際色ある「大曲の花火 春の章」の開催により、インバウンド観光を推進してまいります。

次に、主な部局ごとに諸般の報告を申し上げます。

はじめに、総務部関係についてであります。

「大学卒業程度」の職員採用試験については、新卒者等を対象とした一般事務職員、土木技術職員及び社会福祉士、一定の社会経験のある職務等経験者を合わせて、20人程度の採用予定に対し105人の受験申込みがあり、一次試験を7月23日に実施したところであります。しかしながら、前日22日からの豪雨災害により受験することができなかつた申込者が31人と全体の約3割になったことから、この31人を対象に再試験を

8月20日に実施しております。このことにより、当初の日程を変更して、二次試験を9月20日、10月9日と10日の3日間に実施し、10月25日正午に合格発表の予定としております。

なお、新たな採用枠とした「短大・高校卒業程度」の職員採用試験については、当初の予定どおり9月17日に一次試験を実施することとしております。

次に、企画部関係についてであります。

ふるさと納税制度については、寄附に対する返礼品を、市をPRする一つのツールと捉え、昨年10月から返礼品及び寄附方法の拡充を行っております。さらに、本年10月からは、これまでの特別栽培米と市内蔵元のお酒のほか、これら以外の特産品を返礼品に追加してまいります。また、寄附者から要望の多い「大曲の花火」の観覧を軸とした「おもてなしツアー」を、返礼品の一つとして来年度から実施することで準備を進めてまいります。

次に、健康福祉部関係についてであります。

「大仙市戦没者追悼式」については、7月21日に大曲市民会館において戦没者の遺族をはじめ216人の参列のもと開催しております。終戦から72年の歳月が過ぎ、悲惨な戦争の記憶の風化が懸念される状況では

ありますが、この追悼式や 10 月に予定の「平和祈念フォーラム」などを通じて、恒久平和の願いが後世に受け継がれるよう様々な活動を続けてまいりたいと考えております。

「敬老会」については、76 歳以上の 16,402 人を対象に、9 月 1 日の太田地域、神岡地域を皮切りに 9 月 15 日まで市内 15 の地域及び地区で開催することとしております。

9 月 9 日から 12 日までの 4 日間、県内 17 市町村で行われる「ねんりんピック秋田 2017」については、本市ではグラウンド・ゴルフと将棋の交流大会が行われ、両大会で選手約 600 人、ボランティアを含め大会運営に延べ約 600 人が参加することとなっております。8 月 18 日には、本県選手団の結団式が秋田市で行われ、選手と監督を合わせ 430 人が参加し、このうち本市からは 29 人が参加しております。市では、従事職員説明会の開催やリハーサルを重ねるなど、大会運営に万全を期してまいります。

次に、農林部関係についてであります。

J A 秋田おばこが事業主体として取り組む「ファーマーズマーケット等複合施設『しゅしゅえっとまるしぇ』」については、6 月 21 日にプレオープンセレモニーを開催し、6 月 24 日にグランドオープンを迎えております。地元産の農産物や加工品などを取り揃え、4 日間にわたり

実施されたオープンセールの来場者数は、約 12,000 人と伺っており、地産地消の推進はもとより、地域のにぎわいの創出に繋がるものと期待しております。

本格栽培 2 年目を迎える園芸メガ団地のトマト栽培については、6 月以降の低温の影響により、初出荷は 7 月 1 日と前年より 9 日の遅れがあり、8 月 15 日現在の出荷量は計画高に対し 80 パーセントの 112 トンとなっております。現在は概ね順調に生育しており、収穫作業と併せ、整枝、摘葉、摘果などの管理作業が予定どおり進められております。

合同会社ダイセン創農が道の駅なかせん内に整備する農産物搾汁加工施設については、7 月末に工事が完成し 8 月 2 日から稼働しております。8 月 10 日には、地元産のトマトを原料にした無添加のジュースを、JA の「しゅしゅえっとまるしえ」をはじめ、県内のスーパーや道の駅に初出荷しております。

畜産振興については、7 月 22 日に開催された「第 96 回秋田県畜産共進会」において、本市から出品された肉用牛 5 頭、乳用牛 2 頭が優等賞を受賞しております。また、5 年に一度の大会である「全国和牛能力共進会」が 9 月 7 日から 11 日までの 5 日間、宮城県で開催されますが、秋田県代表として種牛^{しゅぎゅう}の部に中仙地域から 1 頭、肉牛^{にくぎゅう}の部に神岡地域から 1 頭の計 2 頭の出品が決定しており、優良和牛の産地化に向けて上位入賞を期待しております。

次に、経済産業部関係についてであります。

雇用対策については、7月7日に、来春、就職を希望する高校生を対象にした「仙北地域企業説明会」を開催し、46事業所、高校生170人が参加しております。また、大曲仙北、横手、湯沢の雇用開発協会の共催により、7月22日から8月4日までの14日間、「県南地区職場研修事業」が実施され、大曲仙北管内においては、市内の66事業所にご協力をいただき、高校生延べ276人が参加しております。

なお、来年3月の新規高校卒業予定者への7月末日現在の求人状況は、ハローワーク大曲管内で求人事業所数158社、求人数465人と、前年度同時期と比べ、事業所数で14社の増、求人数で50人の増となっております。

県内大学生等と市内企業をマッチングすることを目的とした「大仙市企業インターンシップ事業」については、昨年度を大きく上回る市内企業20社から受入の申し出があり、大学生の夏休み期間中にインターンシップを行う予定となっております。大学生やAターン登録者の就職活動を支援する「大仙市Aターン就職活動支援事業」により、交通費と宿泊費の一部を支援してまいります。

企業誘致については、経験と専門的な知識を有する外部人材を登用し、短期間で成果に結び付ける目的から、企業誘致を専門に行う首都圏在住の嘱託職員を採用し、より強力に企業誘致を推進したいと考えております。

ます。主な業務としては、新たな誘致企業の発掘や市のPR活動、優秀な人材の移住促進などを考えており、今次定例会に嘱託職員2人の雇用に係る予算の補正をお願いしております。

次に、建設部関係についてであります。

道路維持については、住み良さを実感できるまちづくりを目指し、生活に関わる身近な道路の緊急的な整備を実施しております。また、市道の異常や損傷箇所については、「早期発見・早期対応」が重要と考え、新たな取組として、6月に市内郵便局と道路損傷等の情報提供を盛り込んだ包括連携協定を締結したほか、7月から全ての公用車に除雪情報提供システム用スマートフォンを搭載し、GPSと写真撮影機能を用いたシステムを活用して道路の異常箇所等の情報収集を開始しております。

次に、教育委員会関係についてであります。

7月15日から8月20日まで大曲交流センターにおいて開催した「第二樂章 男鹿和雄展」については、37日間で2,103人の入場者数となっております。開催前日の7月14日には、来賓、関係者及び報道機関の方々70人出席いただき、オープニングセレモニーと内覧会を開催したほか、開催初日と最終日には男鹿和雄氏のサイン会を行っております。また、絵画展との同時開催として「秋田、遊びの風景」展や、8月5日には、

大曲市民会館で男鹿氏に関する映像作品の上映会を行っております。

角間川・川のまち歴史交流の杜整備事業については、国登録有形文化財である本郷家住宅について 6 月 1 日に敷地全体の公有化が完了し、現在、住宅既存部分の修繕を 9 月 20 日までの工期で進めております。10 月 14 日と 15 日に本市を会場に開催される「新・秋田の行事」に併せ、地域団体との協働により本郷家住宅の特別公開を行う予定であります。

「第 1 回全国 500 歳野球大会」については、7 月 15 日から 17 日までの 3 日間、県外 11 都県 18 チーム、県内 14 チームを迎えて開催し、神奈川県の横浜シニアクラブチームが優勝しております。本市発祥の 500 歳野球ルールであっても、全国的な野球技術の高さを改めて実感させられる大会となりました。また、今大会では市内観光コースの設定、小・中学校の児童生徒によるアトラクション出演や参加チームへのプレゼント作成のほか、地元食材を盛り込んだオリジナル特産弁当の斡旋、県外チームへのサポートスタッフの配置などの「おもてなし」で、参加選手から好評をいただいたところであります。なお、この大会の取組が認められ、本年度のスポーツ振興賞「経済産業省商務情報政策局長賞」を受賞しております。これを弾みとして、全国 47 都道府県への普及拡大に努めてまいります。

また、本年で第 39 回目となる「全県 500 歳野球大会」は、昨年より 1 チーム増え 185 チームの参加により、9 月 16 日から 5 日間の日程で

開催の準備を進めております。

最後に、財政状況について報告申し上げます。

平成 28 年度の決算については、実質収支は普通会計ベースで 10 億 9,200 万円の黒字ですが、実質単年度収支では 2 億 1,400 万円の赤字となっております。

国民健康保険事業特別会計をはじめとする特別会計決算については、全てにおいて実質収支がゼロまたは黒字となっており、企業会計となる市立大曲病院事業会計及び上水道事業会計の決算については、収益的収支において両会計とも黒字となっております。

実質公債費比率については、過去 3 か年の平均値で算出しており、これまでの市債発行額の抑制による公債費の縮減などから、14.0 パーセントと前年度より 1.1 ポイント改善されております。

将来負担比率については、128.9 パーセントと前年度より 8.0 ポイント改善されております。これは、市債残高の減少や財政調整基金の増加などによるものですが、依然として高い水準で推移していることから、引き続き職員数の適正管理や市債発行額の抑制に努めるなど、将来負担の軽減を図るため、一層の改善に取り組んでまいります。

市の財政運営については、今後も普通交付税の減額により、一般財源が不足する状態が続くものと見込まれることから、事業の取捨選択、

事務事業の合理化を図るなど、健全な財政運営に努めてまいります。

以上、諸般の状況を申し上げましたが、これ以外のものについては、別添のとおり報告させていただきます。

今後とも市民の皆様並びに議員各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げまして、市政報告とさせていただきます。

別添

**平成 29 年第 3 回大仙市議会定例会
市政報告**

市長報告以外の諸般の報告

平成 29 年 8 月 28 日

大 仙 市

目 次

1	市と市内郵便局との包括連携協定について.....	2
2	非核平和宣言都市事業について.....	2
3	移住・定住の促進について.....	2
4	むすび・サポート事業について.....	2
5	安全・安心のまちづくり貢献型電柱広告に関する協定について ..	3
6	夏休み親子環境学習について.....	3
7	ごみの減量化対策について.....	3
8	「大仙市貼って安心、光って安全運動」について.....	3
9	大仙サクラマス・ダービー&大仙サクラマスまつりについて ..	3
10	市の花「コスモス」の普及促進事業について.....	4
11	クマの出没状況について.....	4
12	旧池田氏庭園ライトアップイベントについて.....	4
13	大曲の花火ウィークについて.....	4
14	8月の各地域のまつり行事について.....	4
15	クルーズ船インバウンド誘客について.....	5
16	せたがやふるさと区民まつりについて.....	5
17	友好交流都市との交流事業について.....	5
18	市単独の道路維持修繕及び新設改良工事について.....	5
19	建設部に係る国、県関係事業について.....	6
20	下水道事業について.....	6
21	上水道事業について.....	6
22	簡易水道事業について.....	6
23	だいせん防災教育「生き抜く力育成」事業について ..	7
24	「大仙ふるさと博士育成」事業について ..	7
25	中学生首都圏大学・総合研究所派遣について ..	7
26	秋田県H A C C Pの取得について ..	7
27	第12回大仙市民交流将棋大会について ..	8
28	成人式について ..	8
29	子どもの読書支援等について ..	8
30	総合市民会館事業について ..	8
31	児童生徒のスポーツでの活躍について ..	8
32	第44回東北総合体育大会なぎなた競技会について ..	9
33	大学等のサマーキャンプについて ..	9
34	第25回秋田太田南部忠平杯グラウンド・ゴルフ大会について ..	10

【総務部】

1 市と市内郵便局との包括連携協定について

本市と市内郵便局は、災害時の相互協力や地域見守り協力に関し協定を締結し連携を図ってきました。この協定に「道路損傷等の情報提供」、「不法投棄と思われる廃棄物等の情報提供」の2項目を加え、新たに「包括連携協定」として6月21日に協定締結を行いました。両者がもつ双方の資源を活用することで、多方面にわたる連携をしていきます。

【企画部】

2 非核平和宣言都市事業について

7月25日から3日間、市内の中学生14人を「非核平和レポーター」として広島市に派遣しました。その研修成果を、10月31日に協和市民センター和ピアを会場に開催する「平和祈念フォーラム」で発表することとしています。また、本年度も「平和標語コンクール」を実施し、今月末まで募集を行っています。

3 移住・定住の促進について

本年度から、本市に移住し定住しようとする方に対して、住宅の確保や移住に係る経費等を助成しており、これまで、住宅取得補助金と住宅改修補助金に各1件、引越補助金に2件の申請がありました。

また、本市への移住を検討している方が、農作業や文化、地元住民との交流などを体験する「お試し移住体験」には、これまで1件の申請があり、7月16日、17日の2日間、先輩移住者との交流、酒蔵や花火工場の見学などを行っています。

7月23日には、東京有楽町の東京交通会館で「第1回東北U・Iターン大相談会」が行われ、本市が設置した相談ブースには8人が訪れ、仕事や居住環境に関する相談に応じました。

4 むすび・サポート事業について

本年度から結婚支援事業をリニューアルし、「だいせんdeAERU」として再スタートしました。第1回目の出会いイベント「ノスタルジックGARDEN PARTY」を、8月19日、国指定名勝「旧池田氏庭園」を会場に実施し、参加者30人の中から7組のカップルが成立しました。

なお、実施にあたっては、本年度から結婚支援に関する接遇や個人情報保護法についての研修を経て活動している「だいせん婚シェルジュ」が、参加者の出会いをサポートしています。

5 安心・安心のまちづくり貢献型電柱広告に関する協定について

市内の電柱に、民間企業などの広告とあわせて、地域に必要な公共的な情報（交通安全、防犯、観光、防災など）を掲出することに関する協定を、6月13日、市と東北送配電サービス株式会社秋田支社（東北電力グループ）との間で締結しました。民間事業者の力を借りながら、電柱の広告スペースを有効活用し、市民や観光客などに有益な情報を提供していきます。

【市民部】

6 夏休み親子環境学習について

環境学習の推進を目的に、例年、夏休み親子環境学習を開催しています。8月3日の「昆虫博士になろう（会場：姫神公園）」には12組29人が、8月8日の「さかな博士になろう（会場：斎内川）」には9組29人が参加しました。

7 ごみの減量化対策について

子どもたちがごみの減量化や再資源化、ごみ出しマナーについて学ぶ特別学習「リサイクルマスターになろう」を、地元の廃棄物収集業者と市職員が講師を務め、6月から9月にかけて市内7小学校の4年生299人を対象に実施しています。

8 「大仙市貼って安心、光って安全運動」について

市では、反射材シール付きチラシを全戸配布するとともに、夏の全国交通安全運動（期間：8月1日～10日）にあわせて、「大仙市貼って安心、光って安全運動」と題し、反射材を身につける運動を行いました。

【農林部】

9 大仙サクラマス・ダービー＆大仙サクラマスマつりについて

第1回目となるサクラマスの釣り大会が4月1日から6月20日まで行われ、県内外から50人が参加し、25本のサクラマスが釣り上げられました。

7月1日、花火通り商店街の七夕花火イベントにあわせて開催された「大仙サクラマスマつり」では、丸子川でのカヌー試乗体験やキャスティング競技などが行われたほか、釣り大会の表彰式が行われ、国土交通省湯沢河川国道事務所長から優勝者にトロフィーが授与されました。

10 市の花「コスモス」の普及促進事業について

今年1月に開催された「大仙市中学生議会」での提案を受け、市の花コスモスの周知と景観美化のため、大仙市緑化推進委員会から8月下旬、コスモスの種子入りプランター210個が市内の学校、公民館、介護施設など102施設に寄贈されました。

11 クマの出没状況について

8月21日現在、市内でのクマの目撃数は101件、捕獲数は20頭で、昨年の同時期と比較し、目撃数で2件、捕獲数で2頭少なくなっています。各地で人身事故や農作物被害が発生していることから、引き続き市民への注意喚起などを行っていきます。

【経済産業部】

12 旧池田氏庭園ライトアップイベントについて

初夏の一般公開（5月20日～6月11日）が行われた旧池田氏庭園で、6月2日から4日、9日から11日の6日間、「初夏のファンタジーナイト」と題し、イルミネーションライトアップと洋館への映像投影を実施しました。10日には、ご当地グルメの出店やトランペットデュオの生演奏などを行っています。

13 大曲の花火ウィーク（8月20日、24～26日）について

初日の8月20日、花火通り商店街を主会場に「夏まつり大曲2017」が開催され、昼の部では、子ども樽みこしコンテストや各種ステージイベント、夜の部では、おどりの広場や花火の打ち上げが行われました。

25日、26日には、丸子橋特設会場で「街中音楽SHOW」、「日替わり花火SHOW」、「ご当地グルメ王国秋田」などのイベントが行われ、花火大会直前のまちの雰囲気を盛り上げました。なお、24日のイベントは降雨のため中止となっています。

14 8月の各地域のまつり行事について

各地域・地区では、特色豊かな夏まつり行事が次のとおり開催されました。

8月5日 第7回太田の夏まつり（太田地域）

8月6日 亀田街道・雄清水まつり2017（西仙北地域大沢郷地区）

8月15日 彩夏せんぼく2017（仙北地域）

- 8月15日 第33回ふるさと西仙まつり（西仙北地域）
8月15日、16日 第4回南外盆踊り（南外地域）
8月16日 第33回ドンパン祭り（中仙地域）
8月16日 角間川盆踊り（大曲地域角間川地区）

15 クルーズ船インバウンド誘客について

海外大型客船の8月6日の秋田港寄港にあわせ、インバウンド誘客の推進を図るため、市観光物産協会と連携し、本市の特産品の販売や「大曲の花火」などの観光PRを行いました。

16 せたがやふるさと区民まつりについて

東京都世田谷区の「第40回せたがやふるさと区民まつり」が8月5日、6日に開催され、本市からJA秋田おばこ職員、生産者、市観光物産協会職員など9人が参加し、特産品の販売や観光PRを行いました。

17 友好交流都市との交流事業について

・神奈川県座間市との地域間交流について

7月8日、9日に神奈川県座間市の市民団体「座間市地域婦人団体連絡協議会」の8人が本市を訪れ、「中仙連合婦人会」の8人と相互の活動紹介や意見交換を行ったほか、道の駅なかせんにて地元産品の紹介などを通じ交流を図りました。両市の市民団体交流事業は、市民による自主交流のきっかけづくりと交流を通じた地域の発展を目指して昨年度から始まったもので、今回で2度目の実施となりました。

・韓国唐津市との国際交流について

青少年交流事業として8月3日から7日まで、韓国唐津市の中学生8人が来訪し、大曲中学校での茶道を通して日本文化の体験交流をはじめ、旧池田氏庭園や株式会社花火創造企業などの見学を行ったほか、ホームステイにより本市の青少年やホストファミリーとの親交を深めました。

【建設部】

18 市単独の道路維持修繕及び新設改良工事について

市全体で44か所の工事のうち、24か所はすでに契約済みであり、残りの工事についても早期発注に努めます。

19 建設部に係る国、県関係事業について

・国事業について

協和地域の国道46号荒川地区の線形改良工事が契約締結され、現在、掘削及び盛土工事を実施していると伺っています。

・県事業について

大曲地域の川西六郷線（藤木上橋）、西仙北地域の本荘西仙北角館線（間明田工区）及び土渕杉山田線、南外地域の神岡南外東由利線（下袋工区）で工事を実施していると伺っています。

【上下水道部】

20 下水道事業について

大曲地域の大花町、福田町、富士見町地内6件の管渠工事は、6月22日に工事契約を終え、12月上旬に完了予定。また、飯田字家ノ前地内の管渠工事及びマンホールポンプの機械電気設備工事は、8月3日に工事契約を終え、12月上旬に完了予定です。

神岡地域の大坪、宮田地内2件の管渠工事は、7月13日に工事契約を終え、12月下旬に完了予定です。

南外地域の小出地内1件の管渠工事は、7月6日に工事契約を終え、10月上旬に完了予定。また、下袋地内1件の管渠工事は、8月24日に工事契約を終え、12月上旬に完了予定です。

【水道局】

21 上水道事業について

富士見町地内2件の配水管改良工事は、8月21日に完成しています。

福田町地内の配水管改良工事は、6月15日に工事契約を終え、9月11日に完了予定。また、内小友字下田谷地地内の配水管布設工事は、6月29日に工事契約を終え、9月中旬に完了予定です。

22 簡易水道事業について

中仙地域豊岡地区の水源及び浄水施設改修工事実施設計業務委託は、7月13日に委託契約を終え、年度末に完了予定です。

協和地域南部地区の施設更新事業測量業務委託は、7月6日に委託契約を終え、11月下旬に完了予定です。

【教育委員会】

23 だいせん防災教育「生き抜く力育成」事業について

本事業は、東日本大震災の被災地との交流活動と地域との連携による避難所開設訓練を重視した取組として5年目となります。

このうち被災地との交流活動は、5月25日、26日の太田中学校と大槌町との交流を皮切りに、5月30日に大曲中学校、大曲小学校、花館小学校が大船渡市赤崎地区と、6月26日に太田南、太田東、太田北の3小学校が仙台市荒浜地区との交流を行っています。また、8月31日には太田中学校が大槌町立大槌学園と、9月7日、8日には平和中学校が大槌町吉里吉里地区との交流を行うこととなっており、今後も複数の交流事業が予定されています。

24 「大仙ふるさと博士育成」事業について

本事業の対象となる小学3年生から中学3年生までの児童生徒が、夏休みを活かして地域と関わる活動に取り組みました。教育委員会が企画し7月24、25、28日に実施した「企業見学DAY」では、募集した4事業所のいずれも定員を上回り、見学先では児童生徒がふるさとで頑張る企業の新たな魅力を発見しています。

事業開始から1年となり、「大仙ふるさと博士」の認定を受けた児童生徒数は、8月9日現在、中級16人、初級1,133人となっています。

25 中学生首都圏大学・総合研究所派遣について

8月3日、4日の2日間、市内の中学生18人を産業技術総合研究所、日本科学未来館、理化学研究所及び東京大学本郷キャンパスへ派遣しました。見学、体験、ワークショップなどにより、生徒の科学への興味・関心、意欲が一層喚起されたものと捉えています。

26 秋田県HACCPの取得について

「秋田県食品自主的衛生管理認証（秋田県HACCP）」は、すでに大仙市学校給食総合センター、中仙学校給食センター及び西部学校給食センターが取得していますが、7月27日に4つ目の施設として、太田学校給食センターが新たにこの秋田県HACCPを取得しました。今後も一層、安全・安心でおいしい給食の提供に努めています。

27 第12回大仙市民交流将棋大会について

7月9日、市内外から71人が参加し、大曲交流センターを会場に開催しました。参加者のうち小中高校生が19人で、例年のほぼ2倍となっています。前日8日には前日祭イベントとして、プロ棋士の指導により、花園児童クラブの児童を対象とした「どうぶつしようぎ」講習会や愛好者への将棋指導講習会を行っています。

28 成人式について

8月15日、大曲市民会館において開催し、新成人739人のうち592人が出席しました。式典終了後の記念アトラクションでは、本市出身歌手の鏡元もとじさんをお招きし、新成人にエールを送っていました。

29 子どもの読書支援等について

総合図書館では、3人の子ども読書支援サポーターが各小・中学校を巡回し、学校と連携した子どもの読書活動を支援しています。4月から7月までの4か月では286回の巡回を行いました。また、市内全図書館で、小学生（29人）、中学生（15人）、高校生（21人）のフィールドワークやインターンシップを受け入れています。

30 総合市民会館事業について

市民会館の自主事業公演として、6月20日に大曲市民会館で「槇原敬之 Concert Tour 2017 “Believer”」を開催しました。また、7月9日に協和市民センター和ピアで「陸上自衛隊東北方面音楽隊コンサート」、8月6日に仙北ふれあい文化センターでわらび座ミュージカル「シンドバッドの冒険」を開催し、8月29日には中仙市民会館ドンパルで松竹特別公演「妖麗 牡丹燈籠」を開催します。

31 児童生徒のスポーツでの活躍について

・小・中学校の部活動について

神岡小6年の菅原苅波さんが、8月5日に函館市で開催された「2017（第6回）東日本都道県小学生陸上競技交流大会・北海道函館大会」の女子800mに出場し、第1位となりました。

また、協和小5年の堀田龍さん、中仙小6年の長澤晃汰さんが、8月19日に横浜市で開催された「第33回全国小学生陸上競技交流大会」の5年男子100m、6年男子100mに出場し、それぞれ準決勝まで進みました。

中学校では、大曲中女子バスケットボール部が、8月8日から10日に秋田市で開催された「第47回東北中学校バスケットボール大会」で準優勝し、22日から那覇市で開催された「平成29年度全国中学校体育大会 第47回全国中学校バスケットボール大会」に出場しました。

「第66回秋田県中学校総合体育大会柔道大会」女子団体戦で優勝した大曲中柔道部は、8月22日から福岡市で開催された「第48回全国中学校柔道大会」女子団体の部に出場しました。また、大曲中3年の松本朱音さん、同3年の松本玲菜さん、仙北中3年の高橋郁佳さんの3人が個人戦に出場しました。

・スポーツ少年団の活動について

7月8日、9日の両日、「第13回大仙市長旗争奪サッカースポーツ少年団大会」が開催され、本市の6チームと岩手県からの6チームを含む県内外から48チーム、約800人が参加しました。

野球では、西仙北ベースボールクラブスポーツ少年団が、「高円宮賜杯第37回全日本学童軟式野球秋田県大会」で優勝し、8月10日から東京で開催された全国大会に出場しました。

また、東大曲小6年の戸沢快生さんは、侍ジャパンU-12の代表メンバーに選出され、7月28日から台湾で開催された「第4回W B S C U-12 野球ワールドカップ2017」に出場しました。

このほか、バドミントン、ソフトテニス、卓球、バレーボールなどがそれぞれ全国大会に出場しています。

32 第44回東北総合体育大会なぎなた競技会について

9月30日に愛媛県で開幕する第72回国民体育大会の予選を兼ねて、8月19日、20日の両日、大曲体育館を会場に東北各県代表の選手による競技が行われました。

33 大学等のサマーキャンプについて

7月29日から首都圏の大学等を中心に、野球で7大学、2高校が市内の施設を利用して夏季合宿を行っています。また、本市では通算3回目となる日本体育大学「集団行動」の約100人による夏季合宿が、8月27日から7日間にわたり行われ、合宿期間中、大曲体育館での練習が公開されます。

34 第25回秋田太田南部忠平杯グラウンド・ゴルフ大会について

8月19日、20日の両日、県内外から421人が参加し、秋田太田奥羽グラウンド・ゴルフ場を会場に開催されました。なお、9月10日、11日には、「ねんりんピック秋田2017」のグラウンド・ゴルフ競技が同会場で開催されます。

